

## ●「高齢者虐待予防・早期発見チェックリスト」について(別紙チェックシート)

実施期間:令和6年10月15日~11月30日

依頼先:市内の介護支援専門員 70名

回収方法:データにて回収(今年度よりキントーンアプリで入力)

対象者:市内で在宅生活をしている要支援1~要介護5認定者で担当介護支援専門員がいる人

回収できた対象者数:1,952人

要チェック者数:65人(別紙資料2 チェックリストに1項目でもチェックがあった人)

結果:「心理的虐待(疑)のサイン・養護者の気になる態度」の項目(最多)

- ・支援者や他人の助言を聞き入れず、養護者の考えによる介護方法にこだわる(15人)
- ・養介護者に対して、怒鳴る・罵る・悪口を言う(13人)
- ・世話や介護に対する拒否的な発言が度々聞かれる(10人)

「介護・世話の放棄(疑)」に該当する項目

- ・居室等が足の踏む場もないほど、家財やゴミが散乱しており、不衛生であるため健康が害され対応する状態にある。(8人)

「環境上で気になる」に該当する項目

- ・地域の人たちや親族とほとんど付き合いがなく、孤立している(8人)
- ・庭や家屋の手入れがされず荒れている。多くのゴミが放置されていることで危険な状態であったり、近隣からも苦情がある。(7人)

対応:地域包括支援センターと権利擁護サポートセンターが担当の介護支援専門員に確認したり、同行訪問して状況を確認。虐待対応につながったケースもある。

## ●介護相談員活動について

目的:介護サービス事業所等を訪問し、利用者と事業者との橋渡しをしながら問題改善等に努め、事業所の質的向上を目的に活動します。

介護相談員数:19名

訪問対象事業所数:31事業所